

## 銘柄分析レポート：キャッシュマシン（現金製造機）

### 1 はじめに

下表は、ある会社の有価証券報告書より【主要な経営指標等の推移】を抜粋したものです。

もう少し収益の伸びが欲しいところですが、平成31年3月期の経常利益率は15%を超えており、収益性に優れています。財務も良好で、純資産の緩やかな増加により総資産が増え、直近の自己資本比率（純資産／総資産）は83%に達しました。

特筆すべきはキャッシュフローです。大がかりな設備投資を必要としないため、フリーキャッシュフロー（営業CF＋投資CF）が潤沢です。過去5年間の間に現金同等物の残高を72億円から121億円に増やしました。1年あたり10億円ほど増えている計算になります。

一方、同社の事業用資産（総資産－現金同等物）は130億円前後で推移しています。つまり130億円の元手が毎年10億円の余剰現金を生み出しており、利回りは7.7%に達します。

ところで皆さんは、この会社の業種を想像できるでしょうか。勘のいい方であれば、経常利益率が15%を超えていること、大がかりな設備投資を必要としないことから「前月のレポートに引き続き、ニッチなパッケージソフトの会社ではないか」と思われたかもしれません。実はこの会社、製造業なのです。しかもファブレス経営ではなく、自社にて生産設備を有しています。

今回の銘柄分析レポートでは、製造業の中からキャッシュマシンと言える会社を紹介します。

回次		第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
決算年月		平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月
売上高	(千円)	1,535,362	1,593,782	1,701,960	1,746,427	1,759,698
経常利益	(千円)	204,604	234,010	251,833	279,981	275,756
当期純利益	(千円)	127,925	147,058	169,550	192,060	189,057

純資産	(千円)	1,623,685	1,731,401	1,857,862	2,001,122	2,133,978
総資産	(千円)	2,042,875	2,139,345	2,274,166	2,426,627	2,550,833

営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	101,691	184,970	255,926	180,087	258,811
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	△24,362	△15,714	△52,549	△61,481	△75,138
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	△39,178	△39,312	△42,998	△48,790	△56,126
現金及び現金同等物の 期末残高	(千円)	725,049	854,992	1,015,370	1,085,186	1,212,733